

別添 3-3 木造用チェックシート

木造

外部調査

【災害時調査シート】 《第__回目チェック》 作成日時：平成__年__月__日 __時__分

第1次

外部から一見して危険かどうかの調査

(1) 外部から一見して危険と判断される

	調査項目	被害例	はい : ○ いいえ : ×	○の場合の対処 応急対応等
構造 体の 傾 き	1 避難建物全体、又は一部が崩壊している。 もしくは、1層、又は2層以上の階層がつぶれている。			危険なため 建物の使用不可
	2 避難建物の基礎が崩壊している。 又は、上部構造と基礎がずれている。			危険なため 建物の使用不可
	3 避難建物全体、又は一部が傾斜しているのがわかる。			危険なため 建物の使用不可
そ の 他	4 隣接崖地や地盤等が崩れ、 避難建物を破壊している。			危険なため 建物の使用不可
	5 隣接建築物が崩れ落ち、 避難建物を破壊している。			危険なため 建物の使用不可
	6 隣接建築物から器物(窓枠や外 壁看板、屋外機器等)が落下 して避難建物を破壊(崩壊) している。			危険なため 建物の使用不可
備 考 欄				

※ 「危険なため使用不可」と判断された項目がない場合(全て「いいえ:×」)は、
第2次 余震による危険性の調査へ移行する。

施設名称：

記入者：(所属) _____ 氏名： _____

連絡先： _____

【災害時調査シート】 《第__回目チェック》 作成日時：平成__年__月__日 __時__分

第2次

余震による危険性の調査

(2) 隣接建築物・周辺地盤等及び構造躯体

	調査項目	被害例	はい : ○ いいえ : ×	○の場合の対処 応急対応等
隣接建築物・周辺地盤	① 隣接建築物や太い電柱等が避難建物の方向へ傾いて倒れそうである。			危険なため 建物の使用不可
	② 避難建物の方向へ崩れそうな崖地や山林がある。			危険なため 建物の使用不可
避難建物の構造躯体	③ 屋根、土台が上下方向へ一様でない変形をしている。 (屋根が波打っているように見える)			危険なため 建物の使用不可
	④ 基礎の損傷、又は土台との接合部が破壊している。			危険なため 建物の使用不可
	⑤ 1階の階高に対する横ずれ(傾き)が1/60以上ある。 (下げ振り等を利用し確認)			危険なため 建物の使用不可
	⑥ 建具にゆがみがある。 又は窓ガラスにひび割れがある。			危険なため 建物の使用不可
	⑦ 塗り壁(モルタルやしっくい壁等)に、大きな亀裂やはがれ落がある。			危険なため 建物の使用不可
	⑧ 壁の建材(ボードやパネル)が破壊、破損している。			危険なため 建物の使用不可
備考欄				

※ 「危険なため使用不可」と判断された項目がない場合(全て「いいえ:×」)は、第2次(3)落下物の調査へ移行する。
1つでも○がある場合は建物の使用不可。

施設名称:

記入者: (所属) _____ 氏名: _____

連絡先: _____

【災害時調査シート】 《第__回目チェック》 作成日時：平成__年__月__日 __時__分

第2次

余震による危険性の調査

(3) 落下物の点検

	調査項目	被害例	はい：○ いいえ：×	○の場合の対処 応急対応等
瓦	① 瓦がずれている。			落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
窓	② 窓枠がはずれたり窓ガラスが割れており、落下の危険性がある。			落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
内・外装材	③ 【湿式壁 ^(注1) の場合】 モルタルやタイル等にひび割れや剥離等がみられ、落下の危険性がある。			落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
	④ 【乾式壁 ^(注2) の場合】 外壁や内・外装板材等に隙間や顕著なずれや板の破壊がみられ、落下の危険性がある。			落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
その他	⑤ 看板や器物（タンクやクーラー用の屋外機器等）や屋外階段が傾斜している。			落下しそうな場所を避けて、建物の使用可能
天井	⑥ 天井面に歪みや隙間、破損等が見られる。 又は、壁際と天井の隙間(余裕)や接合部が、平常時と比べて移動・破損している。 ※ホール吹抜け等、高い天井から先に調査し、各室の天井を調査する。			○がある部屋は、危険なため使用不可
備考欄				

※ 全て「いいえ：×」の場合は、建物の使用を開始。
「はい：○」がある場合は、その場所を避けて建物の使用可能。

施設名称：

記入者：（所属）_____ 氏名：_____

連絡先：_____

(注1) 湿式壁とは、モルタルやタイル貼り等の壁。

(注2) 乾式壁とは、釘やビス止めなどで施工できる建材を使用した壁。